

国語プリント No. ( )

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

## 「じじろ」1 Kの人柄 (と私のとまどい)

Kはかなり癖のある性格だ。このKの性格、人柄を把握しておかないと「こころ」の謎は解明できない。以下の記述からKの性格・人柄とそれを熟知している私の反応をまとめていこう。

K

私

136 上1 「Kはいつもに似合わない話を始めました。」OKはいつもはどんな話をしているんだろ  
う？

136 上10 「Kはなかなか奥さんとお嬢さんの話をやめませんでした。しまいには私も答えられないような立ち入ったことまできくのです。」○  
話がやめられない時、話を根掘り葉掘り聞く時ってどんなとき？

136 上12 「私はめんどろよりも不思議の感に打たれました。以前私のほうから二人を問題にして話しかけたときの彼を思い出すと、私はどうしても彼の調子の変わっているところに気がつかずにはいられないのです。」○以前の彼はどんな調子だったのか？

136 上16 「私はとうとうなぜ今日に限ってそんなことばかり言うのかと彼に尋ねました。そのとき彼は突然黙りました。」○今まで喋り続けていたのに、「突然」黙ったのはどうしてか？

136 下5 「平生から何か言おうとすると、言う前によく口のあたりをもぐもぐさせる癖がありました。彼の唇がわざと彼の意志に反抗するようにたやすく開かないところに、彼の言葉の重みもこもっていたのでしょう。いったん声が口を破って出ると、その声には普通の人よりも倍の強い力がありました。……彼の重々しい口から、彼のお嬢さんに対する切ない恋を打ち

136 下11 「彼のお嬢さんに対する切ない恋を打ち明けられたときの私を想像してみてください。私は彼の魔法棒のために一度に化石されたようなものです。口をもぐもぐさせるはたらきさえ、私にはなくなってしまったのです。そのときの私は恐ろしさの塊と言いましょるか、または苦しさの塊と言いましょるか、なにしろ一つの塊でした。石か鉄のように頭から足の先までが急に固くなったのです。呼吸をする

明けられたとき「OKのお嬢さんへの恋はどのようなものであるとわかるか。」

137 下2 「彼の告白は最初から最後まで同じ調子で貫いていました。重くてのろいかわりに、とても容易なことでは動かせない」○この口調は自由の内容がどういふものかということを表しているか？

○Kの性格・人柄を簡単にまとめよう。

弾力性さえ失われたくらいに固くなったのです。」○私がこれほどの反応をしたのはなぜか？

137 上3 「私は一瞬間の後に、また人間らしい気分を取り戻しました。」○「人間らしい気分」とは人間のどういう心の動きを指すか？

137 上4 「そうして、すぐしまったと思いました。先を越されたなと思いました。」○「先を越された」とはどういうことか？

137 下5 「私の心は半分その告白を聞いていながら、半分どうしようどうしようという念にたえずかき乱されていましたから、細かい点になるとほとんど耳へ入らないと同様でしたが、それでも彼の口に出す言葉の調子だけは強く胸に響きました。そのために私は前言った苦痛ばかりでなく、時には一種の恐ろしさを感じるようになったのです。つまり相手は自分より強いのだという恐怖の念がきざし始めたのです。」○何が「強い」のか。そしてどうして「恐怖」を抱くのか？

○私の心情が日常生活に反映されている表現を②節より抜き出さない。

○Kが告白したことによって、私はKとの相対関係はどのように変化したか？（立場がどう変化したか？）